



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガツさん」

NETWORK

にしかわ

2024

令和6年

2月号

No.815



- 主な内容 -

P 2 | 「つながるくん」配布開始

P 6 | ようこそ! 冬の西川町へ

「つながるくん」操作講習会

デジタル推進員による講習会を各地区や町内会にて順次開催しています。初めてタブレットにさわる方、操作に不安がある方などぜひご参加ください。外出が難しい方については個別で訪問対応します。講習会の開催希望などは、下記の問合せ先までご相談ください。



▲デジタル推進員が丁寧に教えます!

町民の皆さまへお願い



「つながるくん」配布にあたり、タブレット配布担当者が訪問日時など確認のため事前にご連絡をします。以下の電話番号よりご連絡しますのでご対応をお願いします!

• 080-9258-0499 • 080-8085-5606

「つながるくん」Q&A

1. 「つながるくん」はこういった目的で使用するものですか。

町からの防災無線や生活情報を受信します。防災無線を文字でも確認できる機能もお使いいただけるようになります。また、災害時の安否確認を行います。

2. 町報やお知らせ版など、配布物はなくなりますか。

当面は紙面での町報やお知らせも継続して配布します。

3. 今までの防災無線はどうなりますか。

これまでどおり防災無線の戸別受信機も併用して利用できますが、次回受信機の更新時には、順次タブレットへの切り替えを予定しています。

またスマートフォンをお持ちの方はアプリ「@InfoCanal (インフォカナル)」をインストールしていただくことで、タブレットと同様の情報を受け取ることができます。

【お問合せ先】 西川町 つながるくん担当
Tel: 0237-74-4403
Mail: digital@town.nishikawa.yamagata.jp



町民と町をつなげる

タブレット「つながるくん」配布開始

2月7日より、「つながるくん」の配布が西部地区より開始されました。これから町内各世帯へ順次配布されます。

「つながるくん」配布の目的



① 町民の皆さんの命を守る

◆ 防災無線として活用します。町からの情報を音声と文字でお知らせ。また、災害時、避難先で情報を得たり、各地区のクマ出没情報を受信します。

② 役場とつながる

◆ 回覧板や町報・お知らせ版、町のイベント情報などを配信します。

③ デジタルを活用した暮らし

◆ 町の動画を見ることができます。
◆ 「さとう宗幸さんコンサート」などのイベント情報を伝えます。
◆ 電子商品券も受け入れる予定です。

「つながるくん」の機能

町の最新情報

イベントなど、町の最新情報がすぐに届きます。

アンケート

皆さまと町との距離を近づけます。

回覧板・広報誌

データ配信で手元に情報が残ります。内容をくり返し確認できます。

防災無線 戸別受信機



安否確認

タブレット操作で皆さまの安否が確認できます。緊急時にも役立ちます。



全戸配布する「つながるくん」には、携帯電話回線であるSIMカードが入っているので、通信・通話(※)を利用することができます。※通信量は500MB/月の制限があります。





菅野大志の

「いどばた会議」

vol.19

まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

今月の大ニュース!

『昨年夏に立ち上げた「西川町かせぐ基金」1000万円に!』

ご登録をお願いします!



▲町公式LINE



▲オープンチャット

1. 最初の2年間で、観光・かせぐ・つなぐ力の基礎づくりが順調!

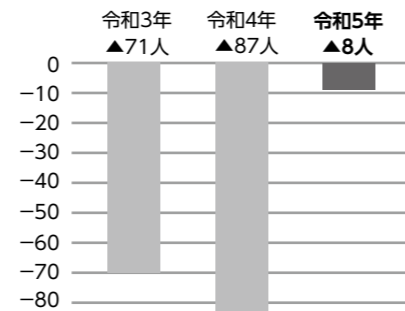
町の財政は、収入として皆さまや企業さまからいただく税金分が7億円であり、そのうち病院の赤字に4億円、上下水道の赤字に2億円を支出する厳しい状況です。このため、町では、町内外の方を丁寧につなぎ、町に人・企業・資金を流入させるよう取り組んでいます。特に若者を呼び込む観光政策を打ち、西川ファン(関係人口)にして若者の移住を目指しています。また、お金持ちの方を観光で呼び込み、西川町への投資を呼び込むよう戦略的に取り組んでいます。

この結果、今年度は、人・企業・資金の流入する傾向にあります。

①人：令和5年4月～本年1月生産年齢人口(15～65歳)の減少が鈍化!

②企業の進出:

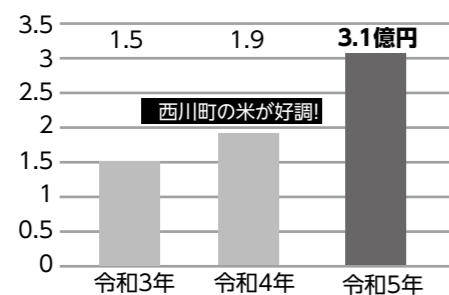
海味1	旧ケーシーフレーム→ジョイフル
海味4	旧東北電力事務所→NTTグループ
間 沢	産業複合施設TRASIに5社が入居
間 沢	旧東北コーオン →朝日相扶



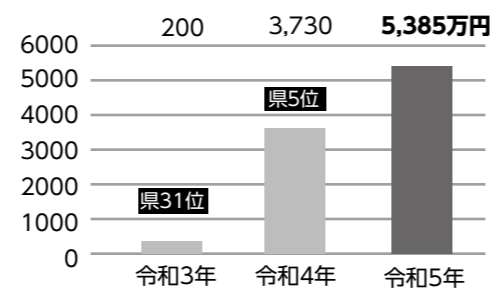
・西部中校舎・西部中体育館・本道寺小学校、水の文化館は、民間企業と交渉中。

③資金：つなぐ課が早く丁寧に回答し、ふるさと納税は、企業・個人ともに好調!

(1)個人からのふるさと納税



(2)企業からのふるさと納税



2. 暖冬による建設業のご支援の補正予算案を提出します。

今冬は、除雪車の出勤回数が極端に少なく、西川町にとって必要不可欠な除雪作業員の皆さまは、樹木伐採や清掃などで大変申し訳ない状況にあります。このため、一定の待機料のお支払いに加え、翌年度の工事を前倒し発注する補正予算案を2月に提出。地域からご要望いただいた工事を早期に実施し、建設業者も守ってまいります。

3. 残り2年は、高齢者のいきいき支援、福祉政策と子育て政策に注力します。

皆さまのご協力により、順調に人財も育成でき、最初の2年間で、産業支援・かせぐ力を養成し、全世帯タブレット(つながるくん)整備により国のデジタル田園都市化方針に従った結果、今後は、1年で国や町外から60億円以上を確保できるメドが立ちました。ありがとうございます。今後は、徐々に高齢福祉政策・子育て支援政策を強化し、国へのチャレンジ補助金を新たに申請する予定です。

昨年夏に立ち上げた「西川町かせぐ基金」は、かせぐ課によるデジタル住民票発行、命名権やサウナ売却により1000万円に達しました。4月以降は、高齢者支援や地域のコミュニティ維持に充てていきますので、お父さん・お母さんと深く対話できるような会を設けていきたいと思ひます。

令和5年度 にしかわご長寿番付

※敬称略

おめでとア!

横綱

佐藤卯仲
(入間3 / 105歳)

東

猜野りネ (海味3 / 103歳)

猜野シミ (海味3 / 102歳)

設楽きみの (梅沢2 / 101歳)

伊藤ひげ (吉川4 / 100歳)

太田勲 (吉川2 / 100歳)

古澤ケイ (岩根沢 / 100歳)

佐藤かつゑ (西間沢 / 100歳)

菊地きみよ (海味3 / 99歳)

工藤良子 (上間沢 / 99歳)

白田登一郎 (入間2 / 99歳)

大関

齊藤まさよ (下堀 / 102歳)

関脇

宮林ときよ (月岡 / 101歳)

小结

志田さく子 (大井沢原 / 100歳)

荒木おみよ (沼山2 / 100歳)

國分克賢 (沼山3 / 100歳)

片倉政雄 (岩根沢 / 100歳)

吉見マサ子 (熊野 / 100歳)

前頭

小野ことゑ (沼山3 / 99歳)

猜野満喜子 (志津 / 99歳)

大泉ゆき (入間3 / 99歳)

※この番付は2月4日時点のものです。

⑤ NETWORK にしかわ 2024-02

NETWORK にしかわ 2024-02 ④



写真1~5：そば打ち体験／6~7：茶道／8~9：月山和紙はがき作り／10~11：和菓子作り体験／12~14：西川中学校との交流／15~18：雪遊び体験／19~22：スキー体験



歓迎光臨！ 冬の西川町へ ようこそ！

今年冬の冬も台湾から多くの方が西川町に訪れていました。1月11日～16日に台湾南湖小学校、1月15日～16日は台湾龍安小学校、1月21日～26日は台湾師範大学、1月30日～2月4日は台中市スポーツクラブ「The One Consulting」が西川町へ体験旅行に訪れました。本町での体験旅行はスキー実習を中心に、日本文化や雪遊びなどのプログラムを提供しています。今年のスキー実習は、小雪山が心配される中、湯殿山スキー場で行われ、また、弓張平の月山スノーランドでの雪遊びでは、雪上バレーやそり滑り、バナナボートなどを満喫していました。町民が先生となつての日本文化体験も行われました。月山和紙ではがき作りや和菓子作り、そば打ち、茶道などの体験を通じて日本文化に触れるとともに、町民の皆さんとの交流を深めていました。また、南湖小と龍安小の2校は西川小を、台湾師範大は西川小と西川中を訪れ、歓迎会や授業に参加し、交流を図りました。

西川小学校と台湾南湖小学校、台湾龍安小学校が姉妹校の締結



西川小学校は台湾南湖小学校と台湾龍安小学校の2校と姉妹校の締結を結び、1月16日に西川小学校で締結式を行いました。締結式には、南湖小の16人、龍安小の26人が来校。西川小の白田慶和校長と南湖小の汪明芳校長、龍安小の鄭福来校長が協定書に署名し、姉妹校として絆を深めていくことを約束しました。

式終了後には、歓迎交流会を行ったり、授業や給食に参加したりして交流を深めました。

西川町と台中市スポーツクラブ「The One Consulting」が連携協定を締結



2月2日、町と台湾台中市のスポーツクラブ「The One Consulting」（取締役：陳侶葵）が包括連携協定を締結しました。

同クラブは、町と連携協定を結んでいる台湾師範大の卒業生が起業しており、その縁で今回の協定が実現したものです。

今後、町は台湾台中市へのプロモーション拠点として、同クラブはスポーツやアクティビティの拠点として両市町を活用していく予定です。



まちづくりNews

早稲田大学生がボランティア活動

早稲田大学では、学生がボランティアを通して成長し、長期的に社会に貢献することを応援する「早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)」が設置されています。

2月4日～7日、同センターを通じて6名の学生の皆さんが町で「雪旅籠の灯り」の運営支援やタブレット事前体験会でタブレット操作を教えるなどのボランティア活動を行いました。

また、今回のボランティア活動では「地域とかかわる」と題し、ボランティアを通じての地域との交流から地方創生について考えを深める場ともなっています。町でのボランティア活動を通じて感じたこと、学んだことなどを2人の学生にお聞きしました。



▲南部輝之介さん
(文化構想学部1年)

昨年の4月に菅野町長の講演を聞く機会があり、「西川町」というすごく熱い町があることを知りました。私は、現在WAVOCで学生リーダーを務めていて、ボランティアの企画を考えているのですが、「地方創生」に関わったボランティアの企画をやりたいと思った時に西川町でできないかと提案し、実現いただきました。

西川町は人との距離が近く、温かい空気が生まれていて思いやりをすごく感じました。タブレット講習会のボランティア活動では、町民の皆さんと直接関わることができ、「人の温かさ」「人の魅力」を実感できてよかったです。人と関わることの楽しさを感じさせていただきました。「地方創生」としてのボランティアは地域ごとに異なりますが、人手不足などを抱えている地域にボランティアとして今後も関わっていき、活動を通して縁を繋げていければと思います。



▲西村洸太さん
(教育学部1年)

私が西川町を知ったきっかけは、豪雪地帯の全国ランキングを調べた時に西川町を知りました。また、夏に岩手県でボランティア活動を行ったのですが、その時に東北について調べると西川町が色々と取組を頑張っていることも知り、今回の企画を見つけ応募しました。

西川町に来てみて、人の温かさをすごく感じる場面が多くありました。ボランティア活動では、作業の後に「ありがとう」と言葉をかけてもらい、温かい気持ちになりました。

最近、能登の地震もあって、ボランティアの意義を考えていたのですが、今回西川町に来てみて、「つながり」を持つことに意義があるのかなと感じました。人と繋がりを持ち、ただボランティアを行うだけではなく、関係を築いていくきっかけとしてボランティアを行っていきたいと思いました。



▲タブレット事前体験会で町民と交流



▲「雪旅籠の灯り」灯りつけ



▲参加者の皆さん



東武トップツアーズ(株)様

▼寄附活用事業…観光振興
東武トップツアーズ(株)（本社：東京都墨田区、百木田康二代表取締役社長執行役員）から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただきました。1月16日、菅野町長より田口東北統括部長に感謝状が贈られました。



(株)秦・伊藤設計様

▼寄附活用事業…タブレット配布事業
(株)秦・伊藤設計（本社：山形市）から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただきました。1月10日、菅野町長より伊藤彰代表取締役社長に感謝状が贈られました。

企業版ふるさと納税をいただきました
寄附企業に感謝状贈呈

町と連携協定を結んでいる一般社団法人「ミライの学校」のサテライトスクール(※)が1月17日～21日に開催されました。夏に続いての開催となった今回は、神奈川県内の小学生とその家族、ミライの学校スタッフ24名が冬の西川町を体験しました。滞在期間中は町民スキー場の積雪が少なかったため、スキー体験は湯殿山スキー場で行いましたが、放課後子ども教室での西川小児童との交流や、月山スノーランドでの雪遊びなどで西川を満喫。1月20日には、交流センターあいべで山形の郷土料理ひっぱりうどんをかわどい亭のお母さんたちが振る舞い、参加者と交流しました。参加した子どもたちは、普段目にするのではない皆さんの雪に喜び、町での体験を楽しんでいました。

※サテライトスクール：普段の授業をオンラインで行いながら、体験学習や現地での自然や地元の方々と直接触れ合い、都市と地方の新たな学びの形

西川町山村まるごと体験留学
ミライの学校サテライトスクール開催



▲初めてのひっぱりうどんに舌鼓を打つ



▲雪のブロックを重ねてイグルーを作成

まちづくりNews

三山電車保存会が「モハ103」の修繕費を募るクラウドファンディングを開始

1月15日、三山電車保存会（会長 古澤勝廣さん）は、月山の酒蔵資料館に保存されている木造単車「モハ103」の車両修繕のため、クラウドファンディングサービス「READYFOR」を活用し850万円を第二目標に支援募集を開始しました。

「モハ103」は山形交通の前身である三山電気鉄道の開業に合わせて大正15年に製造されまもなく100歳を迎えます。長年、風雨と豪雪にさらされた車両は激しく劣化しており、平成30年について屋根が陥没。車体そのものの劣化が進み、倒壊の危機に瀕している状況となりました。このような状況から、町内有志が集まり、「モハ103」の保存を中心に三山電車の歴史を後世に伝えるため、三山電車保存会を立ち上げました。

1月16日、クラウドファンディングの開始式を開催。古澤会長は「残された時間はわずかしくなく修繕できる最後のチャンス。西川町に大正時代から電車が走っていたとい

う歴史を残したい」と話しました。クラウドファンディングは2月29日までとなっております。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



▲詳しくはこちらから！



▲開始式の様子

地域と密接につながりを強化 東武トップツアーズ内定者研修開催

町と連携協定を結んでいる総合旅行会社東武トップツアーズ株式会社（本社：東京、百木田康二社長）の内定者研修が、2月1日～4日に行われました。同社に今春入社を予定している大学生ら30人が町民と触れ合いながら、除雪やイベントの準備を手伝いました。

これは、地元住民らと心を通わせる大切さを学び、地域課題解決や関係人口拡大にもつなげようと、昨年引き続き行われたものです。

2月1日、役場で開始式が行われ、菅野町長は「人とのつながりが財産。つながりと利他の精神を大切に、西川町での経験が社会に出る皆さまの助になればと思います」と参加者にエールを送りました。研修では、参加者が2班に分かれ、月山志津温泉「雪旅籠の灯り」で使う雪像の制作や大井沢や本道寺・月岡の除雪、吉川の炭焼き新割りボランテアに従事しながら、町民との交流を図りました。



▲ボランティアの様子



▲頑張ろう三唱で気合いを入れる内定者

持続可能な農業を目指し 水田転作と耕作放棄地対策の対話会を開催

12月14日に「水田転作・耕作放棄地対策の対話会」を開催しました。農業者36人の方からご参加いただき、水田転作や5年間水張りルールなどについて町と議論を交わしました。

町の農業は課題が山積みですが、今回の議論も踏まえた持続可能な農業につながる前向きな対応策を打ち出すべく、引き続き対話を行っていきます。



▲対話会の様子

農業振興を提言 農業委員会が建議書を提出

12月13日に西川町農業委員会（会長 阿部栄蔵さん・吉川）から菅野町長に、町の農業振興を図るための意見をまとめた「西川町農業施策に関する建議書」が手渡されました。

建議書では、町の魅力的で持続可能な農業を未来につなぐために「農業の担い手への支援対策」「農地の有効活用と対策」「農産物の生産向上対策」「有害鳥獣対策」の4つの提言が行われました。



▲菅野町長へ手渡されました

県より移住者へ食料支援 米・味噌・醤油1年分を贈呈

県外から町へ移住された方へ県より「米・味噌・醤油1年分」が贈られ、12月26日に贈呈式が行われました。

これは県の食料支援事業の一環として行われており、県、市町村、JA全農山形や山形県醤油味噌工業共同組合が連携し、県産米や味噌・醤油を提供しています。

今回、11名の方に贈られ、贈呈式には8名が参加し、菅野町長より米・味噌・醤油を受け取りました。



▲贈呈式の様子

人権擁護委員に高橋千鶴さんが再任

高橋千鶴さんが人権擁護委員に再任され、1月19日、委嘱式が行われました。

高橋さんは「引き続き町民の皆さんのお役に立てるような活動をしていきたいと思っております」と話しました。

人権擁護委員は人権に関する相談業務や、人権意識を高めるための啓発活動推進業務にあたります。



▲高橋千鶴さん

提案された事業プラン

採択

海外の富裕層をターゲットに宿泊施設を軸とした付加価値の高い観光事業の構築

高付加価値の宿泊施設を設立・運営し、観光トレンドに対応した体験プログラムの企画販売を行う。

<宿泊施設>

コンセプト

「月山のふもとで雄大な自然に没入することで日常から離れて心と体を癒し整える」

・“月”をテーマに、月の満ち欠け（リズム）を感じる宿泊体験を提供する。

<体験プログラム>

コンセプト「月山の豊かな恵みを感じる春夏秋冬での非日常体験を」

・月光浴、月の満ち欠けヨガ、岩根沢神社宿坊体験、火渡り神事、月山和紙紙漉きなど

<チームメンバー>

フランスでのビジネス経験者、テレビ番組制作者、月山朝日観光協会職員、地域おこし協力隊他



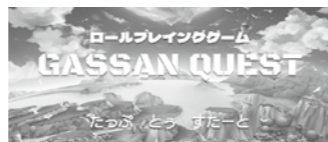
町民の困り事に応えるプラットフォームを「ロールプレイングゲーム」でつくる

町を訪れた人が町民の困り事をクエストとして受注し、クエストをこなす地域通貨をもらうもの。

- ・全戸配布されるタブレットを活用し町民の困りごとを受注する。
- ・ゲームの企画・制作ワークショップを体験する「ハーフ成人式」も開催
→10歳になった町の子どもたちが参加できる。

<チームメンバー>

ゲームクリエイター、中小企業診断士、Uターン者他



地ウイスキーの製造・販売を行いながら、持続可能な地域伝承サービスを提供

ウイスキー事業を土台に、先人の知恵を次世代へ継承するため町内の“人”を起点としたサービスを提供する。

- ・ウイスキーはNFTを活用し、オンライン販売を予定
- ・山菜の食べ比べ、ウイスキーと山菜を楽しめるBARや西川町で生きる知恵をもつ町民による山菜等の生産や料理の制作、暮らし体験事業を行い、地域価値を次世代へ

<チームメンバー>

大学職員、ケアセラピスト、町事業者、町職員他



地域課題解決ビジネスを創る「100DIVE」で応援するチームが決定！

「100DIVE」とは

これまでの取組状況

町はローカルビジネスの創出を手がける株式会社100DIVEと連携し、町の地域課題を解決するための新たなビジネス創出を目指すプロジェクト「100DIVE」に挑戦しています。今回は約3ヶ月間のスタートアッププログラムを通して、対話を重ねて創り上げた事業アイデアをご紹介します。



「100DIVE」では、参加者が1チーム6名3チームに分かれ、「西川町の資源とデジタルを融合させた魅力ある1000万円以上のビジネスをつくる」をテーマに事業プランづくり、競い合います。最も優れたプランは、100DIVEや町の支援を受けながら事業化に向けてブラッシュアップしていくことを目指します。



10月28日からスタートし、約3ヶ月間、オンラインや西川町でのフィールドワーク、ワークショップや意見交換を重ね、ビジネス構想を創り上げてきました。その中で、参加者一人ひとりが目標を掲げ、熱意をもって取り組まれました。1月11日に最終プレゼンテーション、1月13日に結果発表が行われました。どのプランもこれまでの西川町にない大胆な発想で、地域課題の解決が期待されるものもありました。選ばれたチームからは、喜びとともにここから事業化に向けて進んでいく覚悟が、残念ながら採択されなかった2チームも、悔しさをバネに自分たちの力で今後も活動が続けていく強い意志が見られました。すべてのチームが事業化に向けてこれからも動き続けていきますので、温かい応援よろしくお願ひします！



人事行政の運営等の状況について

西川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和4年度における本町の人事行政の運営等の状況について公表します。
【お問い合わせ】 総務課総務係 ☎0237-74-2119

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員数 (各年度4月1日現在、単位:人)			(2) 採用・退職者数 (単位:人)			
令和4年度	令和5年度	対前年度増減数	採用	退職	令和3年度	令和4年度
146	145	▲1			3	7
					3	7

2. 職員の勤務時間・勤務条件の状況

(1) 勤務時間(一般的な職場の場合)	(2) 各種休暇の概要
午前8時30分～午後5時15分(7時間45分) 休憩:正午～午後1時(1時間)	▼年次有給休暇/年20日(令和4年中取得1人平均11.9日) ▼病気休暇 / 負傷または疾病のための休暇 ▼特別休暇 / 結婚、出産等のための休暇

3. 職員の分限・懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数(括弧書き、単位:人)	(2) 懲戒処分者数(括弧書き、単位:人)
分限処分とは、心身の故障等の理由で公務能率の確保の観点から、本人の意に反して行われる処分です。 降給(0)、降任(0)、休職(2)、免職(0)	懲戒処分とは、一定の義務違反に対し、道義的責任を問うことで、公務の規律と秩序を維持する目的で行われる処分です。 懲戒(0)、減給(0)、停職(0)、免職(0)

4. 職員サービスの状況

- (1) 職務専念義務の免除
職員は、勤務時間中職務に専念する義務がありますが、次のような場合は免除されます。
▼研修・厚生事業等を受ける場合
- (2) 営利企業等への従事許可
職員は、任命権者の許可を受けなければ、営利企業の役員等への就任や自ら営利企業を営むこと、報酬を得て事業や事務に従事することができません。
- (3) 休業等制度
▼育児休業等制度※括弧書きは令和4年度の取得者数
育児休業(7)・部分休業(0)・育児短時間勤務(0)
▼自己啓発等休業制度
大学等課程の履修または国際貢献活動を行う場合(0)

5. 職員の研修の状況

区分	内 容		
基本研修	概 要	それぞれの階層ごとに職務遂行上必要な知識、技能、能力の向上を図る。	
	研修名	新規採用、上級、係長 等	
	研修数	6	受講者数 17人
特別研修	概 要	政策の構築などに必要な政策形成能力、職務上の高度な専門的知識、技術の向上を図る。	
	研修名	農政未来塾、キャリア開発塾 等	
	研修数	11	受講者数 16人

6. 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 職員の福利厚生事業の概要	(2) 公務災害の状況
▼保健事業 共済総合健診、婦人科健診、ドック・検診助成、メンタルヘルスケア など ▼給付事業 傷病、死亡、結婚・出産、災害などに対する給付 ▼貸付事業 普通貸付、特別貸付、住宅貸付	認定件数 負傷 疾病 計
(3) 職員の勤務条件に関する措置の要求 職員は、給与・勤務時間・その他の勤務条件に関して、山形県公平委員会に対し適当な措置がとられるよう要求することができます。また、懲戒処分その他意に反する不利益な処分を受けた場合は、同委員会に対して不服申し立てをすることができます。令和4年度はいずれの事案もありませんでした。	公務災害 1 0 1 通勤災害 0 0 1 計 1 0 1

7. 職員採用について

令和6年度も、翌年度採用の職員採用試験の実施を予定しており、6月ごろに行政職若干名の募集を行う予定ですので、多くの方のご応募をお待ちしております。
なお、町では今後、多様な能力を持った職員が必要となっていくことから、社会人経験のある方の採用も増やしていく予定です。

地域おこし協力隊インターン生が活躍!

町では、「地域おこし協力隊インターン制度」を活用し、町の地域おこし協力隊員とともに各地域や団体等の地域住民の皆さんとの協働による地域おこし活動を通じて地域の活性化を図っています。町の地域課題解決に向け、今後さらに協力隊を増員していくために、協力隊に興味を持った方が町での実際の活動や生活をより具体的にイメージしてもらうことを目的に「地域おこし協力隊インターン制度」を昨年より導入しています。

冬のインターン活動は、除雪作業をメインに活動していましたが、今回は「除雪」「町長秘書」「学校サポート」の3つに分かれ活動しています。

「除雪作業」のインターン生は、1月10日から3月27日の期間、1期16日間で4期、約20人のインターン生が入替わり滞ります。現在2期までの活動を終えています。

今年は例年になく小雪のため、除雪作業のほか、町内事業



▲除雪の様子

所のお手伝いや町民との交流を図っていただきました。参加者は、「高齢者や子どもたちなどの町民の方とも多く関わることができてよかった」「地域に溶け込んで活動ができて良い経験になった。また参加したい」と話していました。

「町長秘書」「学校サポート」を行うインターン生は2月1日より活動。「町長秘書」は2人のインターン生が3月31日まで、「学校サポート」は1人が3月1日まで、2人が3月1日から31日まで活動します。

【お問い合わせ】
つなぐ課
Tel: 0237-74-2112

受賞者には豪華商品を
プレゼントします!

ととのう西川インスタグラム フォトコンテスト2023

- テーマ: 西川町のいいべ!と自慢したくなる風景
- 応募期間: 令和5年10月1日～令和6年2月29日
- 応募方法: ①町の公式Instagramアカウント「@nishikawa_town_official」をフォロー
②西川町の「いいべ!」と自慢したくなるような風景の写真にハッシュタグ「#ととのう西川フォトコン2023」と上記アカウントをメンションして投稿



気軽に投稿してね♪



▲詳細はこちらから



▲町公式Instagramはこちらから

各種大会での小中学生の活躍を紹介します！

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介いたします。
※敬称略

Congratulations!

- ▼【バレーボール】
山形県中学校新人体育大会決勝大会
▼西川中男子▽準優勝
- ▼【剣道】
第53回寒河江市長杯争奪剣道大会
中学校女子団体の部
▼西川中女子剣道部▽優勝
中学生男子団体の部
▼西川中男子剣道部▽第3位
※朝日中・陵南中との合同チーム
- ▼栄光スポーツ少年団▽優勝
小学生男子団体の部
▼栄光スポーツ少年団▽第3位
※寒河江剣道スポーツ少年団と合同チーム
- 第31回中山町剣道祭
小学高学年女子個人の部
▼奥山結愛良▽準優勝
▼吉田有那▽敢闘賞（ベスト4）
小学低学年男子個人の部
▼高橋明輝▽準優勝
中学生女子個人の部
▼飯野真琴▽敢闘賞（ベスト4）



▲入賞された栄光スポ少と西川中剣道部の皆さん



▲西川中男子バレーボール部の皆さん

カヌー競技の振興と発展に貢献
荒木政司さんが県教育功労者表彰を受賞

この度、山形県カヌー協会理事長を務める荒木政司さん(間込)が山形県教育功労者表彰を受賞されました。受賞について荒木さんは、「このような賞をいただき、身に余る光栄です。選手たちがカヌー本来の楽しみを感じながら、活躍し続けられる環境を維持できるように、微力ながらこれからも力を注いでいく所存です。また、これまでカヌー競技に携わってこられた全ての皆さまに感謝申し上げます」と話しました。



▲菅野町長と荒木政司さん

第24回シーフード料理コンクールにおいて
玉谷貴子さんが大日本水産会会長賞を受賞

全国漁業協同組合連合会が主催する第24回シーフード料理コンクールの「魚活チャレンジ部門」で、玉谷貴子さん(睦合)が大日本水産会会長賞に輝きました。お魚をより身近に楽しむとともに、そのおいしさを再発見してもらうことを目的に開催されているコンクールで、今年度は全国から2366点の応募があり、最終審査には14点が残りました。12月20日、玉谷さんが菅野町長を訪問され、受賞の喜びを報告しました。



▲菅野町長と玉谷貴子さん

新年の腕試し！
第11回新春西川町長杯ゲートボール大会を開催

1月18日～19日、「第11回新春西川町長杯ゲートボール大会」が、町民体育館睦合分館で開催されました。大会には、町内4チームが参加し、2日間を通じた総当たり戦の勝数と得失点差で優勝を争いました。各チームがはつらつとしたプレーで熱戦を繰り広げ、拮抗した大接戦となりました。結果は、昨年に引き続き小山チームが優勝しました。



▲優勝した小山チームの皆さん

池上博さんが世界文化功労最高芸術家大賞を受賞

この度、日本画家の池上博さん(間沢)が世界文化功労最高芸術家大賞を受賞され、記念の盾と感謝状が贈られました。受賞作品は『静謐(冬木立)』。世界文化功労最高芸術家大賞は、文化芸術を通じた国際社会への貢献や、作品が独創性や表現力に満ち溢れ、国内外での評価や実績のある芸術家の方に贈られるものです。池上さんは、これまでの活動が高く評価され、大変嬉しい。1人でも多くの方が私の作品に感銘を受けていただけたことは、画家冥利に尽きます」と受賞の喜びを語りました。



▲池上博さん

放課後子ども教室にしかわ

◆活動紹介◆

12月25日の1日開催は、睦合公民館をお借りして活動し、午後からは睦合地区の方たちをお招きして「クリスマス会」を開催。子どもたちの元気いっぱいの発表を見守った参加者は「子どもたちから元気をもらいました。また来年も開催してほしいです」と話し、子どもたちも大満足の様子でした。



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です！
【お問い合わせ】
学校教育課
TEL：0237-74-2114

伊藤貢先生の
**元気アップ！
運動教室** PART307



今月のテーマ：

体に合った運動で、安全に運動していきましょう！

上半身のストレッチング！
腕をゆっくり大きく、後ろに回しましょう！（片腕5回程度）



目線は手の親指を
追いかけてください。



背中を中心に、
胸（胸郭）も腕
と一緒に動かし
ましょう！

- 注意点
- ①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください
 - ②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください



自然な呼吸のリズムに合わせながら、腕を大きく回します。胸・お腹・肩・背中の伸びを感じましょう！

健康づくりの為に推奨されている運動にも、けがや事故などの運動によるリスクはあります。しかし、運動の効果は、それらのリスクを上回ることを示されています。*

安全で安心して運動を楽しむためには、自身の健康状態に合った運動内容や運動施設（場所）を選択することも重要です。医学的な確認が必要な健康状態の場合（治療中の疾患がある・健康診断の結果で何らかの異常があるなど）は、医療機関と連携がとりやすく、健康運動指導士等の運動指導の専門家が常駐している施設での運動が推奨されています。*

西川町では毎週水曜日の14時から西川町民体育館で「楽楽運動教室（奇数週）」「ゆる楽運動教室（偶数週）」を定期的に開催しています。教室は全て健康運動指導士が担当します！問診票による健康状態の確認も行い、西川町の保健師・栄養士の方とも連携しています。安心して参加できる運動教室です。適切な運動を定期的にを行う機会として、ぜひ、ご活用ください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

参考・引用資料：
*（※1）運動実施時のけが・事故/厚生労働省/生活習慣病予防のための健康情報サイト
(<https://www.e-healthnet.nhlw.go.jp/information/exercise/s-06-001.htm>)
*（※2）運動実施時のけが・事故の予防/厚生労働省/生活習慣病予防のための健康情報サイト
(<https://www.e-healthnet.nhlw.go.jp/information/exercise/s-06-002.htm>)

西川町保健センター

まちの保健室 より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



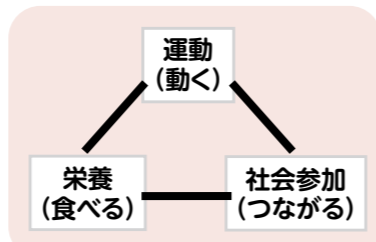
感染症の流行や寒さなどから家の中だけで過ごしていませんか？

高齢期になって心身の活力（筋力・認知機能・社会とのつながり等）が低下した状態を「フレイル」と言います。フレイルの状態のまま過ごしていると、筋力低下による転倒・骨折や認知機能の低下などにより、徐々に介護が必要な状態（要支援・要介護）になることが多くみられます。

【フレイル予防の3つのポイント】

フレイル予防には、「運動（歩く力・筋力保持）」「栄養（しっかり食べる）」「社会参加（人とのつながり）」をバランスよく実践しましょう。

1. 運動…散歩や体操だけでなく、家事も立派な身体活動。「ちょこちょこ動く」ことを心がけましょう。
2. 栄養…3食しっかり食べましょう。筋肉量を維持するためにたんぱく質（肉・魚・卵・豆製品）を意識的に摂りましょう。
3. 社会参加…積極的に外に出て、地域活動やボランティア、趣味のサークルなどで、地域の人々との交流を楽しみましょう。



◆町ではフレイル予防を目的に様々な介護予防事業に取り組んでいます

今年度は海味高齢者サロン“いってみっぺ”へ毎月1回、保健師や管理栄養士が伺い、フレイル予防のための体操をしながら、筋肉量や体力測定で評価する取り組みをしています。

◆フレイルの状態は早めに気づいて適切な予防をすると、健康な状態への回復が期待されます。来年度は上間沢高齢者サロンで同様の取り組みを予定しています。



第4子・第5子誕生、おめでとうございます！



第4子誕生

阿部大介さん・愛紀子さんご夫妻（本道寺）に11月30日、第4子となる敬介（けいすけ）さんが3074gで誕生しました。1月24日、菅野町長から阿部さんご夫妻にお祝い金を贈呈しました。

敬介さんの兄弟は、長女の陽弘子さん（ひろこ・4歳）と長男の陽介さん（ようすけ・2歳）、次男の優介さん（ゆうすけ・1歳）の3人。それぞれがまだ幼いながらも、敬介さんが泣いているとあやしたり、おむつの交換を手伝ってくれたり姉・兄として奮闘しているそうです。



父の大介さんは「人を敬い、大切にすることを教ってほしい」と思い『敬介』と名付けました。母の愛紀子さんは「周りの人にも自分にも優しく、大切にできる人に育ててほしいです。家族が増え、にぎやかさがさらにパワーアップして大変なこともあります。上の3人とも姉・兄としての意識が日々成長していると感じます」とこやかに語ってくださいました。



第5子誕生



高野剛央さん・千明さんご夫妻（間沢）に10月27日、第5子となる天辰（てんしん）さんが3100gで誕生しました。1月28日、菅野町長が高野さんのお宅を訪ね、お祝い金を贈呈しました。

天辰さんが生まれて5人兄弟となり、家の中はさらに元気いっぱい。長女の夏生さん（なつき・11歳）、長男の啓心さん（けいご・9歳）、次男の元暉さん（げんき・6歳）、三男の寛太さん（かんた・2歳）4人は、天辰さんをお風呂に入れる時、誰が天辰さんと一緒に入るかで取り合いになるそうです。また、だっこしたりミルクを飲ませたりなど、お姉ちゃん、お兄ちゃんぶりを発揮。



母の千明さんは「4人とも弟の面倒をみてくれますが、特に長女は料理なども手伝ってくれるので頼もしいです。みんな仲良く、たくましく育ててほしいですね」と話し、父の剛央さんは「静かな時間がないほど家の中が賑やかな時間が多いです。『天辰』という名前は、天に昇るように上昇志向で、強く逞しく健康に育つようにと名付けました」と笑顔で話してくれました。

保育目標

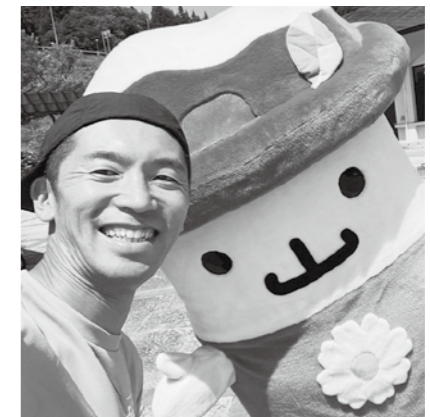
- 雪のようにきらきら輝く子 ●緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子

西川町での1年目を終えて

昨年1月より株式会社CACEの地域おこし協力隊として活動してから、あっという間に1年が経ちました。今までの人生で一番チャレンジの多かった一年であり、一番新しい出会いがあった年でした。その中でも食を通じて活動を行なったCafe Kanayaのランチ・居酒屋営業やイベントでの飲食ブースの出店、DISCOイベントでは過去の料理経験を活かしていろんなメニューを提供しました。一番好評をいただいたのはスパイスカレーです！スパイスは全てインド産を使用し、無添加素材にこだわった食材で健康で美味しいカレーをモットーに作っています。町内の皆さまに喜んで食べてもらえるよう、スパイスカレー作りを楽しみながら極めていきたいと思えます。2月より毎週水曜日ランチ営業いたします！間沢のCafe Kanaya にお食へに来てくださー！

2年目の活動も出会いの中で、ヒト・モノ・コトを繋ぎ、そこから生まれる化学反応を楽しみながら、たくさんの方々とお話しして自分の強みを発揮していきたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

渡邊 健二



保育園コーナー

「素敵な絵本を寄贈いただきました」

1月10日

西川月山ロータリークラブさんから3万円相当の絵本を寄贈いただきました。

1月10日、寄贈式と同クラブのメンバーによる絵本の読み聞かせが行われました。子どもたちは、真剣な表情で絵本のお話に聞き入っていました。

寄贈いただいた絵本は大切に読ませていただきます。



▲読み聞かせの様子

「だんごまつ」

1月10日

そら組さんが小正月の伝統行事「だんごまつ」を行いました。西川月山ロータリークラブの皆さんに手ほどきを受けながら、ミズキの枝に団子やふなせんべいなどの縁起物を色鮮やかに飾り付けました。



▲にぎやかなだんご木が完成

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎85-0077

図書館さ、いぐべ〜。

■マイナンバーカードで図書の貸出しができます

図書館の利用者カードをなくしてしまったり、似たようなカードがたくさんあって財布を圧迫している、ということはありませんか？

西川町図書館では、マイナンバーカードが図書館の利用者カードとして使えます。手続きは簡単ですのでぜひご利用ください。



■2月のおはなし会

日時：2月17日(土)
10時30分から

- ★まほうのでんしれんじ
- ★ひなまつり
- ★さかさのこもりくん
- ★おんなじおんなじももんちゃん
- ★なんでもなおすおいしゃさん
- ★にんじんとごぼうとだいこん



ぽっかぽかコーナー

「本年もよろしくお願します」

2024年も子育て支援センター「ぽっかぽか」で皆さんをお待ちしております。ぜひ、お気軽にお越しください。

▲新年大抽選会



▲手作り衣裳で鬼退治をしたよ





▲メール送信

皆さんの周りの身近な話題をお寄せください。

つなぐ課 町民つなぐ係

0237-74-2112

tsunagu@town.nishikawa.yamagata.jp

「野球しようぜ」 大谷翔平グローブが西川小に届く

メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が全国2万の小学校に贈っているいわゆる大谷グローブ。この度、西川小学校にも大谷グローブが届き、1月9日、同小学校で贈呈式が行われ、生徒を代表して古澤剛人さん（4年）、荒木舞美さん（5年）、佐藤樹さん（6年）が受け取りました。

グローブは春以降は授業やクラブ活動、遊び時間で使用する予定です。



▲笑顔でグローブを受け取りました

縁起の良い水で受験生を応援 西川中3年生に合格祈願水を贈呈

高校受験を目前に控えた西川中学校の3年生42人を応援するため、町と西川町総合開発（株）から「若水」と「合格祈願水」が贈られました。

1月11日に同校で贈呈式が行われ、阿部叶翔さんが前田教育長より水を受け取りました。

生徒を代表し、飯野翠さんは「希望の進路実現に向けて、自分自身の力を発揮できるように頑張ります」と力強く意気込みを語りました。



▲贈呈式の様子

雪の上を歩いて自然を楽しむ 大井沢の深雪体験

1月6日、県立自然博物館とNPO法人エコプロが共催する大井沢の深雪を体験するスノーシューイングが行われ、県内外から33人の方が参加しました。

当日は小雨に加え、例年よりも積雪が少ない状況でしたが、日本の大栗までの林道をスノーシューで歩きました。参加者は、栗の木にできた熊棚の観察や湿地の合戦場（カッチャバ）でのスノーシューイングを楽しみ、記録的な少雪の中でも冬の大自然の自然を満喫しました。



▲ゆっくり雪を感じながら歩きました

庄内の冬の味覚を味わう 寒鰯まつりが道の駅にしかわで開催

チエリーランドさがえでは庄内地方の郷土料理として親しまれている寒鰯汁を味わう寒鰯まつりが毎年開催されています。1月13日、14日に道の駅にしかわで「出張チエリーランド寒鰯まつり2024 in 道の駅にしかわ」が開催され、チエリーランドさがえ特製の寒鰯汁が数量限定で販売されました。訪れた方は、熱々の寒鰯汁を味わいながら、雪で冷えた体を温めていました。



▲熱々の寒鰯汁を味わう

冬の夜を彩るあかり 睦合冬のつどいが初開催

1月13日に「睦合冬のつどい」が初開催され、お柴灯と打ち上げ花火が行われました。これは、人手不足やコロナ禍の影響により人が集まるのが少なくなっている中、区民の皆さんと語り合う場を作ろうと考え企画され、令和5年度西川町地域づくり活動事業補助金を活用したものです。

当日は、お柴灯の火を囲みながら、冬の空を彩る花火を楽しみました。



▲花火の様子

また、延期されていた区民健康祭りも併せて開催されました。

地区の記録を映像で懐かしむ 本道寺地区記録映像上映会を開催

この度、本道寺地区では令和5年度西川町地域づくり活動補助金を活用し、約40年にわたる撮影記録したビデオテープのデジタル化を行いました。これは、撮影記録したビデオテープを映像資料として将来にわたり保存していくために行われたものです。

1月20日、令和6年新春地域づくり映像上映会と新年会が開催され、デジタル化した映像を地区の皆さんが鑑賞し、映像を懐かしみながら思い出話に花を咲かせていました。



▲懐かしい映像に盛り上がる

貴重な伝統産業を守る 吉川木炭活用研究会が炭焼きを開始

町内で唯一の炭焼き小屋を営む吉川木炭活用研究会（代表 大沼喜一さん）の今季の炭焼き作業が1月8日より始まりました。

同研究会は現在8名の会員で活動を行い、昔ながらの炭焼きを継承しています。今年度の「西川町まちづくり団体活動補助金」を活用し、ダクトの整備などを行いました。今年度の活動は3月末までを予定しています。



▲炭焼きの様子

月山参詣の史跡に迫る 「高清水通り調査隊」が調査報告会を開催

1月28日、交流センターあいで大黒森プロジェクト「高清水通り調査隊」の調査報告会が開催され、町内外から108名の方が参加しました。

町内外の有志でつづられた同調査隊は、本道寺からの参詣道「高清水通り」の歴史を調査。報告会では、昨年に行われた「高清水通り」や「清川通」の石像やほころに書かれた文字を解読して判明した設置の経緯などが報告されました。



▲報告会の様子

リノベーションモニター大募集!

※モニターには諸条件がございます。詳しくはお問い合わせください。

「ウンノハウスって新築の会社でしょ？」

実はウンノハウスはリフォーム・リノベーションにも強いんです!

「建替えが良いの？」
「リフォームが良いの？」
どっちが本当に良いのかな?

リフォームって
どこまで
できるの?

耐震とかは
大丈夫?

断熱
とか?

古すぎるけど
直せるの?

ウンノハウス

お問合せ 0120-73-8718

株式会社ウンノハウス リノベーション事業部

営業時間/9:00-18:00 定休日/火曜日・水曜日

【山形ショールーム】山形市大野目4丁目1-37 ホームページ

【米沢ショールーム】米沢市金池5丁目3-2

【仙台ショールーム】仙台市青葉区昭和町3-15 1F

【福島ショールーム】福島市吉倉字前田25-5





西川小学校 2年生がだんご木集会を開催

小正月の伝統行事



1月12日、西川小学校でだんご木集会が行われ、2年生24人が小正月の伝統行事である「だんごさし」を体験しました。

当日は西川町老人クラブ連合会のメンバー21人が同校を訪れ、だんご作りや飾り付けをお手伝い。児童たちは飾り付けに込められた思いなどを教わりながら、出来上がっただんごやふなかざりなどで色とりどりに飾り付け、1年の幸せを願いました。

今月の表紙

町では、タブレット「つながるくん」配布にあたり、各地区で講習会を開催しています。デジタル推進員が丁寧に教えますので、ぜひご参加ください。
(2・3ページに関連記事)

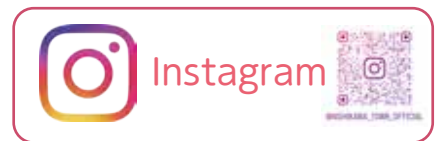
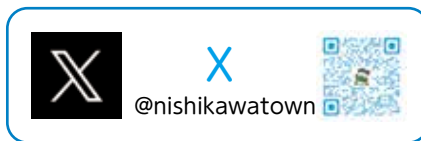
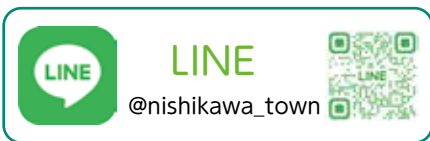


編集雑記

今年の冬は暖冬と予想されていましたが、2月になってもほとんど雪の積もっていない西川にとっても驚いています。

町民スキー場は雪不足のため未だ営業できておらず、残念に思う方がいる一方、志津では冬のイベントなどが開催されており、たくさんの方が訪れています。小雪の中でも、雪の体験を通して皆さんを笑顔にできる西川町に誇りをもっています。

(伊藤)



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<http://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。



2/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,260人 女 2,379人 計 4,639人 世帯数 1,801 ()は前月比 (-1) (-15) (-16) (-2)

